

2015年度 大阪ガスグループ経営計画

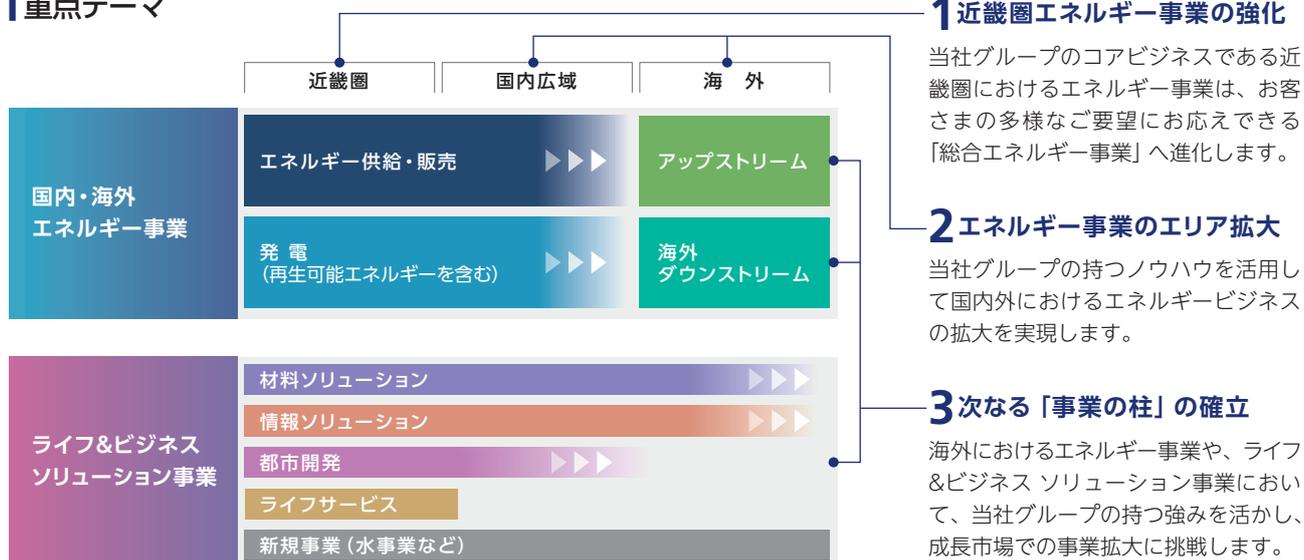
大阪ガスグループ中期経営計画「Catalyze Our Dreams」における位置づけ

当社グループは長期経営ビジョン「Field of Dreams 2020」で示した方向性を維持しつつ、2014年度からの3か年を対象とする、中期経営計画「Catalyze Our Dreams」を策定しています。2015年度は、様々な環境変化に対応しつつ、電力、海外エネルギー、材料ソリューション等、今後の成長が期待できる領域の事業をさらに拡大していきます。また、電力、ガスシステム改革を見据え、ガス・電力等のエネルギーにガス機器や様々なサービスを組み合わせお客様にご提供する「総合エネルギー事業」への進化を目指します。



大阪ガスグループ 中期経営計画「Catalyze Our Dreams」(2015年3月期-2017年3月期) 概要

重点テーマ



投資計画

新規事業拡大投資 (2015年3月期 - 2021年3月期)



目標とする経営指標

		2017年3月期	2021年3月期
収益性指標	ROA	3.5%	4.5%
	ROE	8.0%	9.0%
健全性指標	D/E比率	0.7倍程度	
	自己資本比率	50%以上	
株主還元	連結配当性向	30%以上*	
	自社株式取得	投資や財務の状況などを総合的に勘案し、機動的に実施	

* 短期的な利益変動要因を除く

2015年度 大阪ガスグループ経営計画

事業活動

国内・海外エネルギー事業

電力、ガスシステム改革への対応

- 導管部門の中立性向上に向けた取り組み
- 業務フローやITシステム・組織体制の整備

エネルギー（ガス・電力）販売ビジネス

- 電力小売り事業を拡大（2016年度より）
- 「総合エネルギー事業」としてのさらなる進化

分散型エネルギーシステム

- エネファーム、コージェネレーションやガス冷暖房の普及促進
- 機器・設備の技術開発
- 水素ステーションの設置・運営など

都市ガス製造・供給基盤の強化

- 設備の更新・増強：
泉北製造所第一工場5号タンクの完成
- 地震・津波対策の推進
2015年度末、南海トラフ地震・レベル1津波からの復旧日数2週間を目指します

発電ビジネス 広域エネルギービジネス

- 新たな電源の取得
- 姫路・岡山ライン沿線での需要開発

天然ガス調達 海外アップストリームビジネス

- 調達先の分散や契約価格指標の多様化、天然ガス液化・開発プロジェクトへの参画
- 参画済みの海外プロジェクトの推進
 - フリーポートLNGプロジェクト（アメリカ）
 - ゴーゴンLNGプロジェクト（オーストラリア）
 - イクシスLNGプロジェクト（オーストラリア）
 - パプアニューギニア西部・ガス・コンデンセート田



海外ダウンストリームビジネス

- 東南アジア、北米を中心に幅広い領域で事業参画を検討
- 東南アジアで新拠点の設置を検討



ライフ&ビジネスソリューション事業

ライフ&ビジネス ソリューション事業

- 各事業領域で成長に向けた取り組み
 - 材料ソリューション
ファイン材料を中心とした次世代商品開発の加速
 - 情報ソリューション
クラウドサービス事業の拡大
 - 都市開発
優良資産の取得による事業拡大
 - ライフサービス
ヘルスケアサービスなど新業態への参画



収支計画（グループ連結）

	2015年度計画 (億円)	増減率 (%)
売上高	13,685	▲10.4
営業利益	1,135	+8.0
経常利益	1,100	+1.7
当期純利益	735	▲4.2
ROA	4.0%	—
ROE	8.3%	—

前提：原油価格（JCC）平均65ドル/バレル、為替レート120円/ドル

■ 原油価格と為替レートの変動による経常利益への感度

原油価格1ドル/バレル：±8億円 為替レート1円/ドル：±8億円

投資計画

	2015年度計画 (億円)	増減率 (%)
既存事業品質向上投資	540	+20.8
新規事業拡大投資	1,480	+60.0
エネルギー事業 国内	175	—
エネルギー事業 海外	730	—
ライフ&ビジネスソリューション事業	575	—
投資額合計	2,020	+47.3